

2022年3月12日

2022年度 事業計画書
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

公益財団法人 天田財団
理事長 末岡 慎弘

I. 財団運営の概要

コロナ禍は単に研究開発活動そのものを停滞させただけでなく、国際会議や学会における知見交流活動も停滞させた。その一方、オンラインツールの積極的な活用により様々なメリットも創出されたが、経済的な理由により研究格差がより大きくなったのも事実である。天田財団は金属等の加工に係る研究開発や国際交流、ならびに技能者育成への助成を通じて、我が国の産業及び経済の健全な発展に寄与することを目的に、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における研究者の期待に応える真に有益な公益事業を推進する。

II. 事業の内容

1. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術の調査・研究に対する助成として、総助成件数80件、総助成金額2億3,500万円を計画する。以下にその内訳を示す。

(1) 重点研究開発助成

財団が提示した複数の課題をもとに、研究者が独自に研究テーマを設定した研究に対する助成として、助成件数6件、助成金額6,000万円を計画する。

(2) 一般研究開発助成

研究者が自ら現在進行している研究に対する助成として、助成件数54件、助成金額1億3,500万円を計画する。

(3) 奨励研究助成

若手研究者の育成を目的に自らがテーマとした研究に対する助成として、助成件数20件、助成金額4,000万円を計画する。

2. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術に関する国際交流の促進及びその助成として、総助成件数12件、総助成金額880万円を計画している。以下にその内訳を示す。

(1) 国際会議等準備・開催に係る助成

国内で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数2件、助成金額200万円を計画する。

- (2) 第1回国際会議等準備・開催に係る助成
海外にて実績がある国際会議で、国内で初めて開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数2件、助成金額300万円を計画する。
- (3) 国際会議等への参加に係る助成（単独参加）
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数2件、助成金額70万円を計画する。
- (4) 国際会議等への参加に係る助成（院生等同行参加）
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等へ関係する院生等を同行して参加する助成として、助成件数2件、助成金額140万円を計画する。
- (5) 国際会議等への参加に係る助成（若手限定）
若手研究者が海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数2件、助成金額70万円を計画する。
- (6) 国際シンポジウム準備・開催に係る助成
若手研究者自らが中心（主催者）となり、3か国以上の研究者を招聘して開催するシンポジウム等の準備・開催に対する助成として、助成件数2件、助成金額100万円を計画する。

3. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する助成した研究や国際交流の成果の普及啓発事業として、以下を計画する。

- (1) 助成成果報告書の発刊及び配布事業
研究開発助成事業、及び国際交流促進事業によって報告された成果を年度ごとに「天田財団助成研究成果報告書」として、1987年から2020年度までの研究成果報告書を記録した、キーワード検索機能付きのDVDを付属して発刊し、国内研究機関並びに産業界等に配布して普及啓発を行なう。本年度は配布部数1,900部を計画している。
- (2) 機関誌（Form Tech Review）の発刊及び配布事業
毎年度特集テーマを設定し、過去の成果報告の中から特集テーマに相応しく、かつ技術の向上と発展に効果が大きいと判断される研究を選考して、その研究者にその後の研究の進展を加え改めて執筆された論文を、機関誌「Form Tech Review」として刊行する。本年度は配布部数2,200部を計画している。

(3) 財団ニュースの発刊、配布事業

財団の公益事業活動を広く紹介する「天田財団ニュース」を年2回発刊し、研究成果発表会や公共展等で配布、普及啓発を行なう。本年度は総配布部数で4,000部を計画している。

(4) 助成研究成果発表会の開催事業

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に対する対策を施しながら、可能な限り通常開催を目指す。

① 第5回レーザープロセッシング助成研究成果発表会

日時：2022年4月20日

場所：パシフィコ横浜（OPIE'22の公式イベントとして併設開催）

参加：150名程度

② 第19回塑性加工助成研究成果発表会

日時：2022年11月17日

場所：塑性加工連合講演会に特別併催行事としてを要請中

参加：150名程度

(5) 令和4年度天田財団助成式典の開催

令和4年度助成者に対する「助成金目録贈呈式」及び助成研究報告された研究者による「招待講演会」からなる助成式典を実施する。

日時：2022年12月3日

場所：未定

(6) 公共展への参画事業

助成研究成果の産業界への普及啓発を目的として、対象領域に適した以下の公共展に参画する。

① OPIE'22

日時：2022年4月20日～4月22日

場所：パシフィコ横浜

② Photonix 2022

日時：2022年12月7日～9日

場所：幕張メッセ

③ Laser Solution 2023

日時：2023年1月（詳細未定）

場所：未定（レーザー学会学術講演会年次大会併設）

4. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成として、総助成件数240件、総助成金額1,200万円を計画している。

本年度は、職業能力開発促進法施行令で指定され、都道府県職業能力開発協会が実施する技能検定の職種である「工場板金」と新たに「金属プレス加工」を加え、技能検定に係る「受検手数料」の受検者本人の負担軽減を目的とした助成を行う。

(1) 前期技能検定 (助成件数70件 助成金350万円)

- ① 曲げ板金作業 (1・2・3級)
- ② 打出し板金作業 (1・2・3級)
- ③ 金属プレス作業 (1・2級)

(2) 後期技能検定 (助成件数170件 助成金850万円)

- ① 工場板金 (特級)
- ② 機械板金作業 (1・1級)
- ③ 数値制御外レツトハ°ンフ°以板金作業 (1・2級)
- ④ 金属プレス加工 (特級)

以上